

館報

おおくま

— おもな内容 —

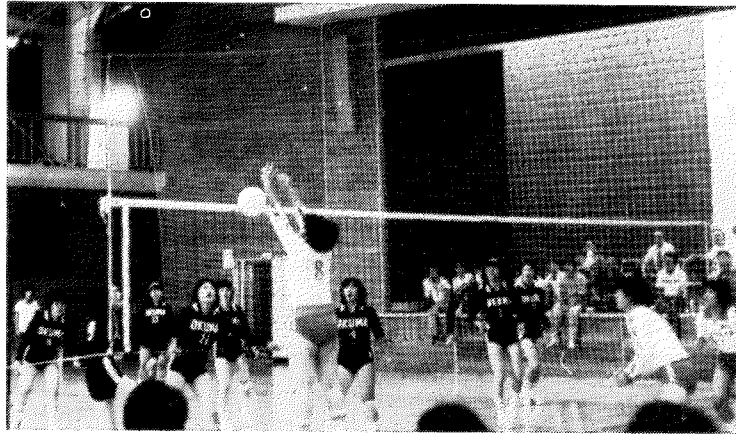
- 2面…文化祭のお知らせ
- 3面…生徒指導について
- 4面…子どもと読書
- 5面…部落公民館の運営状況調査
- 6面…文芸
- 7・8面…みんなのひろば

発行編集 大熊町公民館
印刷所 新栄社写真美術印刷



綱引き

ヨーイシヨ ヨーイシヨ
 ヨーイシヨ ヨーイシヨ
 一進一退
 真剣な顔、顔、顔……。
 お田さんもお父さんも
 総立ちとなった
 ヨーイシヨ ヨーイシヨ
 子どもの声も
 お田さんの声も
 ひとつになって湧する
 澄みきった秋空に
 色つきはじめた
 阿武隈の山々に
 ひときわ高く
 ヨーイシヨ ヨーイシヨ
 小さな力が一つになったとき
 一人一人が
 力のすべてを出しきったとき
 綱は静止する
 「力の均衡」のときだ
 ドーン 終了の合図が鳴った
 引き分け
 白組からも
 紅組からも
 バンザイヤイ バンザイヤイ
 「協同の社会」それは
 綱引きである
 一人一人が
 力のすべてを
 出しきらなければならない。



熱の入った浪江町との決勝戦

郡総合体育大会 女子バレーが四連勝

今年で十七回目を迎えた恒例の双葉郡総合体育大会は、絶好のスポート日和に恵まれた九月十六日浪江町において開催され、陸上競技ほか十四種目に熱戦を展開した。この大会は、郡内町村民の親善とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な人間育成をはかるうと言われ、当日は選手役員等、たものであり、当日は選手役員等、

約八百名が参加し白熱したプレーを展開、大熊町は女子バレー・家庭バレーの二種目に優勝を遂げた。特に女子バレーは四年連続の優勝となり、圧倒的な強さをみせた。また総合ではわずかの点差で惜しくも四位にとどまった。なお上位成績並びに各町村の成績は次の通り。

第17回双葉郡総合体育大会総合成績一覧表

1位…8点
2位…7点
3位…6点
4位…5点

種目 町村名	陸上男子	陸上女子	柔道	剣道	銃剣道	相撲	庭球男子	庭球女子	卓球男子	卓球女子	バレー男子	バレー女子	バレー家庭	ソフトボール	バスケット	総得点	順位
広野町	1	-	-	2	-	-	-	-	3.5	5.5	6	2.5	3	2.5	-	26.0	7
楡葉町	7	4	-	1	-	-	3.5	-	5.5	3.5	5	2.5	5	7	4	48.0	5
川内村	5	-	-	5	-	-	3.5	4	1.5	-	2.5	5	7	2.5	-	36.0	6
富岡町	3	6	6	6	8	-	8	6	5.5	8	7	2.5	3	8	7	84.0	2
大熊町	6	5	5	4	5	7	5	7	7	3.5	2.5	8	8	2.5	5	80.5	4
双葉町	4	8	8	3	6	8	7	5	8	7	2.5	2.5	3	5.5	6	83.5	3
葛尾村	2	-	-	8	-	-	-	-	1.5	-	2.5	6	-	2.5	-	22.5	8
浪江町	8	7	7	7	7	6	6	8	3.5	5.5	8	7	6	5.5	8	99.5	1

大熊町の上位種目
女子バレーボール 優勝
家庭バレーボール 優勝
相撲 準優勝
庭球女子 三位
卓球男子 三位
陸上男子 三位

文化祭のお知らせ

作品募集中

とき 11月2・3・4日 (3日間)

ところ 大熊町第2体育館 (大熊町役場隣)

展示会の部

- 書道展……小学生・中学生・高校生・一般(高令者も含む)の方々の作品。
- 絵画展……保育所・幼稚園・小学生・中学生・高校生・一般(高令者も含む)の方々の作品。
- 生花展……流派を問わず学生・一般の方々の作品。
- 甲冑展……文化財として価値ある甲冑を展示。
- 盆栽展……盆栽・水石愛好者・一般の方々の作品。
- ◎出品申込……出品される方は、10月25日まで公民館へ申込み下さい。
- ◎応募条件……町内在住者及び町内に職を有する方。

- ◎出品物の搬入……11月1日午前9時から12時まで第2体育館に持参下さい。
- ◎搬出日時……11月4日 午後3時より搬出。

民俗芸能発表会の部

- 11月3日午後1時より会場内において民俗芸能の発表会を行なう予定です。ご期待下さい。
- 参加する芸能
 - ・熊川稚児獅子舞
 - ・夫沢ジャンガ念仏太鼓
 - ・諏訪神楽

行動に走る前の 生徒指導に力を

大野小学校教諭 広畑 昇



本年は国際児童年にあたり、児童の健全育成は、日本のみにとどまらず世界的な運動に発展している現状ですが、わが大野小学校における生徒指導について紹介します。さて生徒指導では問題行動や

来た。
勿論テレビで観戦する高校野球のように、胸にジーンとくる感動のシーンがある訳でもなく、青春をぶっつけ合うすばらしい純粹さや、若さ溢れるきびきびしたプレーなど、若さの片鱗もない。悲しいかな、そこにはもう輪とともに

いようです。次に原因動機についてみると、物欲が最も多く、ついで偶発的好奇心によるもの、付和雷同、こづかい銭、遊興費等の順となっています。本校では、この事から指導の体策について次の点に考慮を払っています。
(1) 禁止や制限で行動を限定した

(2) 問題行動の予防については、いかに児童が喜んで登校するかという点だと思います。勉強、クラブ活動、スポーツ少年団の育成の中から自分の能力が発揮できる経験を持たせる様に努めており、学校のねらいや、教師の考えが学業成績だけを重視しているような感じを与えないようにどの児童もそれぞれの目標を持って前向きな姿勢で登校できるよう努力しています。

次に各家庭の皆さんにお願いしたいと思えます。それは、子どもの模範となる心構えで行動してほしいということです。親が誠実な

清流

草群で啼く虫の音も、夜空の星の光も、もう秋だと言うのに、夏の甲子園の熱戦の興奮が醒めやらぬ儘に、つい話題が野球の方へ移ってしまうのである。

近年、本町においても社会体育の一環として、各種のスポーツ大会が催され、登場する選手達や、それにもなう応援団の人達も、多種多様になって参りました。

どんな風の吹き廻りか、過日行われた壮年ソフトボール大会では、この私も選手と審判員の双方を勤めて、町内大会の幾つかの試合を観戦することがで

われ面白の人困らせ

館報編集委員 島 覚

勝手気儘な態度にただ呆れるばかりであった。選手を野次り、審判員の裁定を不服だとしては悪口を叩いて、まさに有頂天になっている。「あんな審判の目玉はムシツマエ」(名差して)あいつは審判なんか出来るのか。

どう云う意味なのか。これでは応援だとはいえないし、まるで喧嘩腰ではないか。自分のチームに有利な裁定をしない審判員の眼球はむしり取ってしまえという意味なのだろうか。もしそうだとしたら、町の行事に協力し、喜んで奉仕しようとする町民に対する最大の侮

辱であり、信念をもって裁定しようとする懸命な努力を続けている審判員の人権を著しく蹂躪する暴言であるばかりでなく、明らかに審判員に対する強迫ではないだろうか。

審判員とは、こんなにも冷酷な、ぼろくそにいわれながらも職務を遂行しなければならぬのだろうか。勿論筆者も、幾度かこの人達のように、相手の立場も考えず、こんな嫌がらせの言葉をいとも簡単に口にしたこともあったが、いい反省の機会でもあった。空の人物ほど大きな音がすると云うが、実にこの世の中で自分の教養の無さを知ったとき程、自分を惨めに思うときはないのである。

ご存知ですか!! ちいさな世界 テレビ放映

3才児の育児やしつけを考える 幼児教育番組です。日曜日午前9時30分 福島テレビから(再放送月曜日午前10時)

放送内容

- 10月 21日 あっ／危ない／
- 28日 これくらい 食べないよ

11月

- 4日 絵本であそぼう
- 11日 ことばのおくれ
- 18日 リズムののって
- 25日 ヤケドをしたら

生き方をしているか、人に迷惑をかけないように努めているか、社会生活のルールを守っているかなどが、子どもの考え方や生活のしかたに強い影響を与えているからです。最後に学業成績中心に子どもを評価しないで、人間としてのよさを認めてやり、その個性を十分に伸ばすような励ましを与えてやる親になるよう、子どもといっしょに努力する親になることをお願いします。

児童劇で 楽しいひととき



豊かな家庭づくりと地域文化の振興をねらいとした家庭劇場(児童劇)を県文化センター及び日本児童劇協会、町の三者共催により去る九月二十五日、熊町小学校において公演、子ども達からヤンヤの拍手を得、楽しいひとときを過ごした。当日の出演者は、風の子劇団の一行でトランク劇場と称しトランクをぶら下げた五人のメンバーが登場、トランクから取り出したひもやロープをつかった遊び。もう使いなくなったナベやフライパン、一升ビンやビールビン等、数種類の小道具を

使った楽しい音楽会。そのほか影絵などで知られる手あそびやバスケット、ズボンなどを使って馬になったり、犬になったりの劇あそび等、子ども達にとっては楽しい広場であった。また、物資の豊富な時代に生まれた子ども達にとっては創造性を養う意味から大変よい勉強であったと思う。

子どもと読書

子どものころに本を読む習慣をつけておくことは、これからの人生に大きなプラスになるでしょう。読書の習慣を身につけさせるには、まず、本を読むことの楽しさや味をわけることが第一です。そのためには、子どもが興味を持ち、読みたがっている本から与えていくのがよいでしょう。子ども自身が、読んだあと満足感を味わえる本を選ぶ。これが、本に親

人会長、館報編集委員等をつとめています。

始め指導者として、青少年の心身の育成に情熱を燃やし、また町社会教育委員としても活躍されています。

人事消息

大熊町教育委員

教育委員の松本幸一氏は、九月三十日に任期満了となり退職いたしました。昭和四十六年、町教育委員に選任されてから二期八年に亘り教育行政全般に尽くされました。なお後任には井戸川清隆氏(下野上五区)が選任されました。井戸川氏は県農業共済連を退職後、当町の剣道少年団の組織化を

同じく教育委員の吉田正夫氏は一身上の都合により九月三十日に辞任いたしました。吉田氏は昭和五十一年十月から三年間、教育行政に尽力されました。後任には木幡キサさん(野上二区)が選任されましたが、木幡さんは今年三月まで社会教育指導員として町社会教育の振興に尽くされ、現在は婦



木幡さん



井戸川さん

開設のお知らせ 於公民館
くらしの法律相談所
十一月より毎月一回予定
担当弁護士 薬師寺典夫先生

読んだあとで、お母さんが感想を聞いてあげると、子どもは自分の考え方や意見を話す機会ができて、読書の喜びが一層深いものになります。
読後感を話し合うときは、くれぐれも説教調にならないように子どもの興味と関心をまず尊重する立場にまわりましょう。
こうした親子のコミュニケーションを通して、お母さんは次に与える本の選択を考えるとともに、子どもの読書を上手にリードしていくように心がけたいものです。

町民マラソン大会

参加者募集!! <期日> 昭和54年11月11日(小雨決行) 午前10時出発
大野病院前において午前9時から9時30分まで受付を行う。



- <コース> 一般男子29才まで... 8 kmコース
- 高校生男子... 6 kmコース
- 中学生男女... 4 kmコース
- 高校生女子... 4 kmコース
- 一般男子30才~40才まで... 4 kmコース
- 一般女子... 4 kmコース
- 壮年男女40才以上... 4 kmコース

- <参加資格> 町内在住者及び町内に職を有する者。中学生・高校生は父兄の承諾書、一般の方は誓約書を提出する。
- <参加申込> 11月8日まで参加費200円を添えて大熊町公民館へ申込むこと(所定の用紙は公民館の窓口にあります)。

部落公民館の運営状況調査を終えて

昭和五十四年度大熊町社会教育(公民館)重点事業の一つとして部落公民館との交流を深める方策をたて、部落公民館の運営状況の実態を調査中でありましたが、その結果がまとまりましたのでお知らせします。

調査結果の概要

- (1) 部落公民館設置数……二十館
- (2) 部落公民館名……大字名九十%、字名十%

- (3) 館長の専任別……専任二十% 兼任(行政区长)八〇%
- (4) 建築年度別では昭和四十一年から四十五年度が最も多く、一番古いものが昭和二十二年建築、新しいものが昭和五十一年度二館となっている。

- (5) 建築経過年数……最も古い部落公民館で五十年以上、次に四十年、二十六年、二十三年と、最も多いのが十三年未満となっている。

- (6) 規模別では、六十㎡未満が三十五%、百㎡未満三十五%、二百㎡未満十五%、二百㎡以上五%

- (7) 運営状況について
 - ある……三十五% ない……四十五%
 - 研究……二十%
 - 運営委員会
 - ある……四十% ない……四十五%
 - 研究……十五%
 - 委員構成
 - 男子……三十五% 女子……三十%
 - 研究……十二%

維持管理費

- 区費より……三十五% 各戸より……十五% 研究……五十%

主催事業計画の有無

- ある……四十五% ない……三十%
- 研究……二十五%

全般的に部落公民館の運営状況を考察すると前述の通り館長には維持管理面から行政区长の兼任が多いが、部落によっては専任の館長を設け運営されている部落公民館が増加している。

公民館名については、馴染深い部落名をつけ部落民に愛好されるよう配慮されている。規模別では地域の実態に相応した公民館が多いが、昔の集会所を部落公民館を改称している公民館もあり、狭隘・改補修を必要と感ずる。建築年数も相当経過している部落公民館、私有地に設置されてい



読書週間

10月27日～11月19日

図書あんない

読書の秋です。家庭でのひとときを読書にふけるのもよいものです。つい先日は親子読書会が誕生するなど、最近読書活動への感心も高まりつつあり、公民館の図書室では連日のように小学生やお母さん方が読書を楽しんでおりま



購入図書

- 幼年童話 全二十一巻
- ママお話しさせて 全十巻

寄贈図書

この度、鈴木ひろ子さん(大野)より次の図書を寄贈していただきました。御礼申し上げます。

- 内灘夫人。いのち燃えつきる
- とも。サンダカン八番娼館。凱旋門。髪の花など五冊。
- (写真は公民館の図書室で読書する子どもたち)

町長杯争奪職場対抗ソフトボール大会成績

12	10	7	10	0	4	5	0	3	2	4	3	1	4	17	8	2	
サンデーバード	ヤケヤアカア(業)	クリンツツ	中央台業協会A	東亜道路工業(業)	大熊クンキズ	ミンチギロズ(業)	大熊町役場	ロブスターズ	双葉運輸	ニシラヂメ	大熊支店	河村組	夫沢アトム	大熊町商工会	長原原業会	柳和子愛好会	下野上クラブ

文芸

詩

かぜ

大小四年 鈴木由紀



「ビュー」「ビュー」
 風っているんな音をだすんだな。
 耳をすませてきいてごらん
 なにかを話しているみたいだよ。
 「サラ」「サラ」
 風がまどをたたいている。
 「お友だちになりたい
 いらてくれ」と
 話かけてくるみたいだ。

短歌

小林 かおる

ひまわりの一列に咲くせまき庭に
 まばゆいばかり陽はふりそそぐ
 母と娘と雷雨の中を肩組みて
 待宵草の道をしそぎぬ

中野 明衣

わが丈においつきおこす日も近し
 浅黒き足 庭駆け抜ける
 蒼空に銀杏の映える季節なり
 天遊せし君 もはや十年

中山 貞夫

叱られて物で寝る子の濡れ睫
 濡れたままなる小望月かな
 病棟の夜半を良かれと見廻れば
 月の明りの変ることなし

木下 千代子

安産を祈りて降りくるみ社に
 散りしく落葉踏み難くして

飯田 良江

備はりし如き明るさ持つ友の
 集ひの座をば笑ひに誘ふ
 臨時に行きたる事務所の吾が机
 虫くいてあまたの穴あきており

高桑 重明

初秋の空はくまもなくわらべらの
 とんぼ追ひつ草むらの中
 いづくなる本立に居るらむ郭公の
 哀しき秘めつひとしきり鳴く

島 重丸

如何にせん袂にすがりとどむれど
 暗路を急ぐ後姿は
 生涯を町の為にと果し志賀
 遺し足跡とわに輝く

川木 裕子

つかのまに夕べの虹は消えしかど
 松葉がくれに茜さす見ゆ

俳句

猪井 静枝

香煙の髪にまつわり梅雨の寺
 郭公の一声高き朝餉かな

川木 裕子

蝸の高く鳴く声に目覚めけり
 新語を頼張る子等の笑顔かな

結城 チヨ

夏休み過ぎ安閑としている店
 ほはつきをなつかしめる帰省の子

木村 蓉子

雑草の背丈をしのぎ休耕田
 屋上の半旗仰ぐや蟬時雨

一戸 多磨子

親族書したため終へて麦茶かな
 青柚子の香り豊かや絹豆腐

菅野 ミヨ

姪甥の顔そろい来て盆灯り
 栞梗にかえて佛の鐘すがし

中山 安子

麻酔覚め命握りてつばめ見る
 ベットより見る秋空に雲遊ぶ

渡辺 政美

野馬追の終りし馬を洗い居り
 白木樅星降りそそぐばかりなり

小説

貞蔵のつつみ

うち浮かんでこなくなった。

下野上の村はずれに七軒の人
 々が住んでいた。田はつくって
 も水は中々流れてこなかった。
 これをあわれに思われた殿様は
 一山向うにつつみをつくってく
 れた。七軒の人々は安心して田
 をつくる事ができるようにな
 った。つつみの土手には草や木
 が生えた。田植えがすむと、七人
 の若者は土手の刈り払いにでかける。

この日は朝から暑かった。疲
 れた彼等は早目に昼食をとった。
 大きなエゴ(昔の弁当箱)に一
 ぱいつめた麦飯をおいしそうに
 たべていた。食べ終った貞蔵は
 いった。

「早く飯食って水あびねえか」
 「このつつみすりばちだぞ」
 「何だ、おっかねえのか」
 「めし食ったばかりだし」
 「いいよ。おれひとりであびっ
 からみんなみている」

彼は泳ぎつ、もぐりつ得意気
 にふるまった。
 岸の六人をはじめはみていた
 がそのうち木かげで昼寝したり、
 話し合ったりしていた。そのうち、

「めんめんするわい、アッハッハー」
 「めんめんするわい、アッハッハー」
 と大声をたてた。

もともとひょうきんな貞蔵、
 またはじまったなと思っ
 ていた。

これは大変と思っただが、この深

いつつみ、誰も助けようとしな
 いかしこのままにおくわけには
 かない。一番おとなしい嘉兵衛が
 いった。

「おれが入る。ナワがない。みん
 なフンドシをとけ。そしておれに
 結びつける。おれが合図したらひっ
 ぱれ

嘉兵衛はとびこんだ。そして水
 中を探した。見当らない。一呼吸
 してまたもぐる。三度四度……
 誰も何も言わない。しかし気が
 でない。何回か繰返し探している

中、嘉兵衛の脚に手ごたえがあっ
 た。彼は手早く貞蔵をだいて合図
 した。みんなは待っていたとばか
 りひき上げた。

貞蔵の呼吸はとまっていた。水
 をはかせようとうつぶせにして背
 をさすったり、ひざを腹にあてて
 水をはかせたが、貞蔵はどうとう
 助からなかった。

嘉兵衛は家に帰った。彼はムコ
 だった。義父はひと一倍気むずか
 しい老人だった。
 「嘉兵衛、ここに坐れ。お前はき
 ようつつみに入ってひとを助けよ
 うとしたことは偉い。しかしひと
 の命も大事だが、家も大事だぞ、
 お前に万一のことがあったらこの
 家はどうなる」嘉兵衛はだまって
 うつぶしていた。

かきの実
 熊小六年 坂本はるみ

はやく赤くならないかな
 かきの実
 青く固くつばまって
 あかるい色はついていない。
 いじわるしているかきの実よ。
 たべられるのがこわいのか。
 赤くなったら
 まっさきにおまえをくってやる。
 はやく赤くなれ
 かきの実よ。

俳句

猪井 静枝

香煙の髪にまつわり梅雨の寺
 郭公の一声高き朝餉かな

川木 裕子

蝸の高く鳴く声に目覚めけり
 新語を頼張る子等の笑顔かな

結城 チヨ

夏休み過ぎ安閑としている店
 ほはつきをなつかしめる帰省の子

木村 蓉子

雑草の背丈をしのぎ休耕田
 屋上の半旗仰ぐや蟬時雨

一戸 多磨子

親族書したため終へて麦茶かな
 青柚子の香り豊かや絹豆腐

菅野 ミヨ

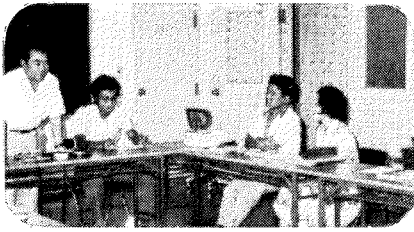
姪甥の顔そろい来て盆灯り
 栞梗にかえて佛の鐘すがし

中山 安子

麻酔覚め命握りてつばめ見る
 ベットより見る秋空に雲遊ぶ

渡辺 政美

野馬追の終りし馬を洗い居り
 白木樅星降りそそぐばかりなり



短歌クラブ結成

短歌に志す者のグループづくりを計画し、前号の館報で参加者を募集したところ十一名の方が加入され、その発会式が過般公民館において行われた。そして、皆さんで協議の結果、毎月第二土曜日、午前九時に公民館に集り、短歌の発表と研究を行うことになった。講師には、浪江町の青田サダさんをお願いしました。入会希望者は大熊町公民館へ連絡下さい。

(写真は九月十一日に
行われたクラブ結成会)



成人式に思う

過日、成人式に参列して深く感銘を覚えた。

それはどの若者をも、大人希望に満ち、人生が本当に楽しくて仕方がないという表情があふれており頼もしく感じた。

数々の来賓の方々から、それぞれすばらしいご祝辞をいただき、成人になった喜びとあわせ感動もひとしおだったことだろう。

それに浪江町の教育委員をなさっておられる矢沢先生の講演もあり、よい成人式だった。特に私なりに感動した点は、

若者は無限の可能性を秘めているが、それを引き出し磨いていく

そのほかいろいろと申されたが、

また自分の国は自分たちで守らなくてはならないと。日本の国は日本の国民が守るのだという自覚のもとに邁進してほしい。外国に行ってみて、いかに日本の国がすばらしいかよくわかったと。そして大人になったことを自覚して強く生き抜いて、日本の将来を築いてほしいと話された。

一本のワラ

どれも感動しながら聞いた。私さえ胸をうつ沢山のものがあったのだから、血潮たぎる若い人たちはひどく感動したと思う。

私は思う。二十才というのは人生のいくざりであろう。この二十才まで無事に成長したことを喜ぶとともに、これまで自分たちの人生を支えてくれたさまざまな人々に感謝を忘れてはならない。また、これからは一つ一つに責任をもち常に前向きな姿勢で生きてほしい。失敗がなんだ。若いのだからいくざりでもやり直しができるのだ。人生のこまからみれば一つ二つの失敗など気にすることは無い。人生の道には、広い道もある。

大川原 志賀 栄子

小さな親切

昨年、梨の誘引の時でしたが、一本の葉にこんな力があろうとは全く知らなかった。大人の親指位に太く育った枝を四十五度に曲げて棚に結ぶのに使うのが一本の葉だ。曲げるのだけでも相当な力があるのに一ヶ月以上しばらくの間じっと役目を果たしてくれる。そして不要になったものはいつしか土となり取り去る手間はいらなかった。そこで葉の力を試してみた。先ず湿らせて、トントン打ってしなやかにし、水一升を持ちあげてみた。らくなで更に一升を増し二升にしてみたがまだ力が余っているようだった。目方すると約四kgに近い。昔のことわざに「溺れる者は葉にもすがら」とあるが

奉仕活動 仲間を求め

ボランティア活動(奉仕活動)とは、原則的な言い方をすると、ボランティアシップに生きる喜びを広く人々の間に広げることです。福祉制度だけでは解決しない幸福の問題を解決するための活動です。活動の種類は種々ありますが、とりあえず毎月の活動として次のようなことから始めたいと思います。参加希望者は左記に連絡下さい。

①奉仕活動(地域清掃から)
②ボランティアニューモラルの会……月一回
③総会(五十五年度以降)連絡先
東電新大熊独身寮
佐野 好 司 宛
電話 大熊 三三三九番

日の丸をたてて 国歌を歌おう

世間で「自分をかえりみて他人を思う心」が欠けていると言われている。町内小学校一年生定弘君の友A君が大野病院に入院、定弘君とは大の仲良し、A君が入院後は元気がない日々を過ごしていた。定弘君は僕でさえこのようにさびしいからA君も……。「よき友」は「よき図書」と公民館図書室より本を借りて病室にいるA君に届けたい。A君は生来本が大好き、付添えの母も定弘君の友情に感謝、一年生なりに親切という心が芽生えている。

定弘君のような心をもつ人になることが大切である。

学級で学んで

月に一度の家庭教育学級ほんとうにありがたいです。子どもが成長するともに色々な問題にぶつかりますが、今まで一度もかかさず学級に出席していたお蔭で何んとか問題を切りぬけてきました。以前は子どもに正しい考えを言われると、その時の気分ですいどなってしまふ事もあり、後になつて「しまった」と気がつくのでしたが、後の祭りになってしまいました。そんな子どもと私のやりとりを黙って聞いていた主人が「お母さん、それは子どもの方が正しいよ。認めるべき事はちゃんと

大熊を離れ、はや十六年。とは言っても日立に住む小生にとつて、大熊は遠いようでもあり、近いようでもある。故郷を常に身近な存在として生活してきたせい、さほど意識もしなかつたが、長女の誕生以来、故郷の存在が同僚達との話題にもなるようになってきた。



故郷を思う

永井文秀

故郷は想い出の宝庫
と言えぬかも知れない。山や川、空や海、親兄弟、自然を残して殆んど変つてしまつたかも知れないが、何かにつけ思い出されることが多かったことや辛かったことや悲しかったこと、それら

すべてが懐しく思い出される。しかも綺麗に美化されて、まことにありがたい存在である。ところがアパート住まいの小生の子どもは生まれた故郷でもなければ、日立の町も故郷とは言い

思う。家事というきりのない、それでいて単調な仕事をしていると「学ぶ」という機会がなかなかない。生活の中に「学ぶ」という機会がないと、自分が過去に生きてきたことだけから物事を考え、進歩のない人間になってしまふように思う。

最近大熊町も、原子力発電所建設を機にかなり発展してきたようである。故郷を離れている私共にとつても、故郷の発展は喜ばしいことである。ただ我儘を言わせてもらえぬならば、故郷の自然は

の悪口を言っているより、どんなにましかしれないと思うし、自分のうちこめるものがあるということは、幸せな事だと思ふ。民謡にかぎらず、習字でも読書でもなんでもいいと思う。今までの自分になつたもの、少しずつ自分のものになつていくということは、どんなに楽しいことか。

私も母にならつて、仕事のあいまをみながら、なにか学んでみたいと思うこのごろである。熊町一主婦

編集後記

○収穫期になつて雨がつつき穂発芽が心配される稲、農家の皆さんのご心労お察し申し上げます。館報第一〇七号の後記を書く鉛筆をそつと置いて農業のむづかしさをしみじみ思う。

○今年は大熊町にとってはまさに選挙の年である。町長選挙、総選挙、そして町議選と続く。投票事務をやっていると投票用紙を折りたたんで投函する人、そのまま投函する人まちまちである。その人の個性が現われているように思う。

○投票用紙を折つて投函しなければならぬ、そのまま折らないで投函してはいけないというきまりはない。しかし折らないでそのまま投函すると投函口が狭いのでなかなか投入しにくいようである。

○ちよつとした所に工夫をすればなにごとでもスムーズにいくものである。日常生活の中で工夫のできる人は他人よりそれだけ無駄骨をおらなくてもすむということだ

○日常生活の中で衣食住に工夫をこらすことを訓練しなければならぬ。特に省エネルギーについては。

○館報の原稿をお寄せ下さい。要領は四百字詰原稿用紙一枚程度で一、主張、産業、教養、文芸に関するもの何でも結構です。

二、政治的な色彩をもたないもの個人非難に属する抽象的なもので常に建設的なもの。

きるだけそつと、末永く保つて欲しい。こんな事を言うのは故郷の発展と矛盾するかも知れない、また手前勝手な考えだとはじゅうじゅう承知の事ではあるが、いまの子どもたち、これから生まれてくる子どもたちが成長し故郷を離